



佐 潟 通 信

2013年12月

48号

ハスの大群落ひろがる



暑い日の続いた2013年の夏。今年には2009年以来4年ぶりにハスが勢いを取り戻しました。4年分を取り返すように、これまで見たことがないほどの一面のハス群落となりました。

(下) 2012年夏のようす。
湖面には角田山が映っています



2013年春～秋のいきもの

勝手に注目、勝手にセレクト



4月

ヒキガエル

水路に響く低い声
数日後たまごを発見



5月

オドリコソウ

上潟の散策路沿いに
見事な群落が広がる



6月

タバコの花

見られるのは
ほんの一時だけ



7月

チョウトンボ

きらきらと輝く
はねがきれい



8月

ノコギリクワガタ

カマキリやカブトも
子どもたちの人気者



9月

ヒヨドリジョウゴ

今年は豊作？ 赤い実が
目に付きました



10月

ヒメクイナ
(撮影者提供)

佐潟では約30年ぶり
の確認とのこと



11月

ヘラサギ

今年もきてくれて
ありがとう

ラムサール条約湿地交流

昨年新たに登録湿地となった「渡良瀬遊水地」のある栃木県小山市、栃木県藤岡町のみなさんがこの秋視察にこられました。

6月には、「エコライフフェア・湿地の恵み展」に参加させていただいたほか、ラムサール条約登録20周年を迎えた谷津干潟での記念行事にお招きいただきました。



佐潟水鳥・湿地センター開館15周年

佐潟水鳥・湿地センターは、水鳥類や湿地の保全についての普及啓発、調査研究及びモニタリング等を行う拠点施設として、1998年5月に開設されました。

今年で開館15周年を迎えたことを記念して、佐潟で活動する方々の協力を得ながら5月19日に記念事業を行いました。

佐潟散歩特別編

朝6時集合で上潟まで足を伸ばす「小鳥コース」など、いつもと一味違う佐潟散歩を行いました。

講師：
佐潟ボランティア解説員の会



凧づくり凧あげ大会

今年も凧名人たちが佐潟へ。インバーダーカイトのほか、さまざまな凧があがりました。学生さんたちも大活躍でした。

共催：佐潟と歩む赤塚の会
講師：しろね大凧と歴史の館
協力：新潟大学ダブルホームEホーム



4/21佐潟桜まつり
あいにくの雨模様



7/11 赤塚中職場体験
いきもの展準備



8/24佐潟まつり
潟舟乗船・万燈籠など



9/22 潟普請
中学生も汗を流す



11/8フナ稚魚放流
小学生もお手伝い



11/16 ナイトハイク
夜の白鳥観察

7/27
(土)

ぼくとわたしの夏休み 佐潟の昆虫だぁ！

当日朝から雷雨となり、屋外での昆虫採集は出来ませんでした。クワガタの昆虫標本作りを体験しました。

共催：佐潟と歩む赤塚の会
講師：新潟大学いきものサークル / 新潟西高校生物部 / 新潟薬科大学自然史研究会



11/4
(月休)

絵手紙体験教室

木の実や草花、落ち葉など、佐潟の植物等をモチーフに、墨と絵の具で絵手紙を作成しました。

講師：高山久美子さん（日本絵手紙協会公認講師）

12/8
(日)

もの潟り

～佐潟のヨシでつくる、北欧のモビール「ヒンメリ」
ヨシに糸を通し、つないでいくと、クリスマス飾りにもぴったりな、立体的な光のモビールができあがりました。

講師：甲田小知代さん（大学美術教育学会国際交流委員(フィンランド)）、横田 直美さん、荒川 洋子さん（協力）



「私の佐潟」文化祭 作品募集



展示期間 1月23日(木)～3月9日(日)
八ガキサイズで佐潟を表現しよう

佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9：00～16：30（冬期間11月から2月の土・日は7：00から）
【休館日】月曜日（祝休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。